Software Product Description

日本語 DECnet SNA リモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS SPD 61.11.00 Version1.4A ソフトウェア仕様書

仕様書の包含する範囲この文書は，日本語 DECnet SNA リモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS のソフトウェア仕様を述べたものです。

1 概要

日本語 DECnet SNA リモート・ジョブ・エントリ for OpenVMS（以下日本語 RJE と略す）は，DECnet SNA VMS Remote Job Entry（標準版 RJE）と組み合わせることにより，IBM ホストと OpenVMS システム間で漢字コードを含むファイルを透過的に送受信することを可能にします。日本語 RJE は OpenVMS システム上で，OpenVMS システム上の IBM 漢字コード (SO/SI ではさまれた 2 バイト・コード) と EBCDIC コードの混在した順編成ファイルと，DEC 漢字コードと ASCII コード (及び JIS カタカナ・コード) の混在した順編成ファイルとの相互変換を行うためのユーティリティです。

2 特徴

日本語 RJE は，JSNACODE ユーティリティおよび JSNAKNJDEF ユーティリティから構成されるソフトウェア製品です。

2.1 JSNACODE ユーティリティ

JSNACODE ユーティリティは，IBM コードのファイルと DEC コードのファイルを相互に変換するユーティリティです。本ユーティリティは，どのような変換を行うかを指定するためのいくつかの修飾子を備えています。修飾子の組み合せにより，次のような変換機能が提供されます。

IBM → DEC

- SO/SI コード (IBM 漢字コードと EBCDIC コードを SO/SI るためのコード) ではさまれた IBM 漢字コードから DEC 漢字コードへの変換を行います。 SO /SI コードは削除されます。
- JSNAKNJDEF ユーティリティで作成した外字管理ファイルを指定することにより，IBM 付加文字 (JIS 第一水準，第二水準に含まれない文字) あるいは IBM ユーザ定義文字の IBM コードを DEC 拡張漢字セットのユーザ定義領域の DEC 漢字コードに変換することができます。
- 変換の際に使用する 1 バイト・コード変換テーブルをユーザで作成して，指定できます。 (この 1 バイト・コード・テーブルは，DECnet/SNA VMS Gateway Management ソフトウェアが備えているコード・テーブル作成ツールにより作成されます。)
- 半角カタカナ 1 バイト・コードを含むファイルを変換する場合，出力ファイルとして作成される DEC コードから成るテキスト・ファイルの形式を次の 2 通から選択できます。
  - 半角カタカナをプリンタ，ターミナルにそのまま出力できるよう，ESCAPE シーケンスコード挿入された形式。
  - ESCAPE シーケンスを含まない形式。

DEC → IBM

- DEC 漢字コードを SO/SI コードではさまれた IBM 漢字コードへの変換を行います。
- JSNAKNJDEF ユーティリティで作成した外字管理ファイルを指定することにより，DEC 拡張漢字セットのユーザ定義領域の DEC 漢字コードを IBM 付加文字 (JIS 第一水準，第二水準に含まれない文字) あるいは IBM ユーザ定義文字の IBM コードへ変換することができます。
- 変換の際に使用する 1 バイト・コード変換テーブルをユーザで作成して，指定できます。 (この 1 バイト・コード・テーブルは，DECnet SNA VMS Gateway Management ソフトウェアが備えているコード・テーブル作成ツールにより作成されます。)

2.2 JSNAKNJDEF ユーティリティ

JSNAKNJDEF ユーティリティは，外字管理ファイルを作成・管理するためのユーティリティです。外字管理ファイルは，IBM 付加文字 (JIS 第一水準，第二水準に含まれない文字) あるいは IBM ユーザ定義文字の IBM 漢字コードと DEC 拡張漢字セットのユーザ定義領域の DEC 漢字コードとの変換対応規則を定義し保存したファイルです。このファイルは，JSNACODE

digital™

1994 年 4 月
AE-Q4Y8A-TE

ユーティリティにより利用されます。このユーティリティには，次のような機能があります。

- 外字管理ファイルの作成
- 既存の外字管理ファイルの修正
- 外字管理ファイルの内容表示

3 必要なハードウェアの最小構成

適用プロセッサ

AXP: DEC 2000 モデル 200 AXP Server,
DEC 3000 モデル 300 AXP Workstation,
DEC 3000 モデル 300L AXP Workstation,
DEC 3000 モデル 400 AXP Workstation,
DEC 3000 モデル 400 AXP Server,
DEC 3000 モデル 500 AXP Wrokstation,
DEC 3000 モデル 500X AXP Workstation,
DEC 3000 モデル 500 AXP Server,
DEC 4000 モデル 610 AXP System,
DEC 4000 モデル 620 AXP System,
DEC 7000 モデル 610 AXP System,
DEC 7000 モデル 620 AXP System,
DEC 7000 モデル 630 AXP System,
DEC 7000 モデル 640 AXP System,
DEC 7000 モデル 650 AXP System,
DEC 7000 モデル 660 AXP System,
DEC 10000 モデル 610 AXP System,
DEC 10000 モデル 620 AXP System,
DEC 10000 モデル 630 AXP System,
DEC 10000 モデル 640 AXP System,
DEC 10000 モデル 650 AXP System,
DEC 10000 モデル 660 AXP System,

VAX: VAX 4000 モデル 100，
VAX 4000 モデル 200，
VAX 4000 モデル 300，
VAX 4000 モデル 400，
VAX 4000 モデル 500，
VAX 4000 モデル 600，
VAX 6000モデル 200 シリーズ，
VAX 6000モデル 300 シリーズ，
VAX 6000モデル 400 シリーズ，
VAX 6000モデル 500 シリーズ，
VAX 6000モデル 600 シリーズ，
VAX 7000 モデル 600 シリーズ，
VAX 8200，VAX 8250，VAX 8300，
VAX 8350， VAX 85XX，VAX 8600，
VAX 8650， VAX 8700， VAX 8800，
VAX 8810， VAX 8820， VAX 8830，
VAX 8840，
VAX 9000モデル 110，
VAX 9000モデル 210，
VAX 9000モデル 300 シリーズ，
VAX 9000モデル 400 シリーズ，
VAX 10000 モデル 600 シリーズ，
VAXft モデル 110， VAXft モデル 310，
VAXft モデル 410， VAXft モデル 610，
VAXft モデル 612，

MicroVAX: MicroVAX II， MicroVAX 2000，
MicroVAX 3100 モデル 10/10E，
MicroVAX 3100 モデル 20/20E，
MicroVAX 3100 モデル 30，
MicroVAX 3100 モデル 40，
MicroVAX 3100 モデル 80，
MicroVAX 3100 モデル 90，
MicroVAX 3300， MicroVAX 3400，
MicroVAX 3500， MicroVAX 3600，
MicroVAX 3800， MicroVAX 3900

VAXstation: VAXstation II， VAXstation 2000，
VAXstation 3100 モデル 30，
VAXstation 3100 モデル 38，
VAXstation 3100 モデル 40，
VAXstation 3100 モデル 48，
VAXstation 3100 モデル 76，
VAXstation 3200， VAXstation 3500，
VAXstation 3520， VAXstation 3540，
VAXstation 4000 VLC，
VAXstation 4000 モデル 60
VAXstation 4000 モデル 90

VAXserver: VAXserver 3100 モデル 10/10E,
VAXserver 3100 モデル 20/20E,
VAXserver 3300， VAXserver 3400，
VAXserver 3500， VAXserver 3600，
VAXserver 3602， VAXserver 3800，
VAXserver 3900，
VAXserver 4000 モデル 200，
VAXserver 4000 モデル 300，
VAXserver 4000 モデル 500，
VAXserver 6000 モデル 210/220，
VAXserver 6000 モデル 310/320，
VAXserver 6000 モデル 410/420，
VAXserver 6000 モデル 510/520，
VAXserver 6000 モデル 610，
VAXserver 6000 モデル 620，
VAXserver 6000 モデル 630

適用されないプロセッサ

- VAX–11/730
- VAX–11/750
- VAX–11/780
- VAX–11/785

プロセッサ制限事項

スタンドアロンの MicroVAX 2000 および VAXstation 2000 では，TK50 テープ駆動装置が必要です。

必要なディスク容量

AXP Systems:
(Block Cluster Size=1 の場合)

インストール時:	約 900 ブロック (450K バイト)
システム運用時:	約 450 ブロック (225K バイト)

VAX Systems:
(Block Cluster Size=1 の場合)

インストール時:	約 700 ブロック (350K バイト)
システム運用時:	約 350 ブロック (175K バイト)

これらのディスク容量は，システム・ディスク上で必要となるディスク領域を表したものであり，概数です。実際の値は，システムの環境，構成，ソフトウェア・オプションに応じて異なります。

4 インストレーション

日本語 RJE を使用するには，日本 DEC がサポートする DECnet SNA Gateway 構成が必要です。弊社がサポートする DECnet SNA Gateway を最初に購入する際に Gateway Installation/Orientation Service も購入する必要があります。

日本語 RJE のインストールは，経験豊富なお客様が行ってください。あるいは日本 DEC のインストレーション・サービスをご利用ください。このサービスにより，経験を積んだ日本 DEC のソフトウェアの技術者によるソフトウェア・プロダクトのインストレーションが提供されます。

インストレーションを行う前に

当社のソフトウェア・インストレーション・サービスを利用される前に，次のことを行ってください。

- ターミナルを含む，すべての必要なハードウェアを事前にインストールしてください。
- 当社の通信機器へのインタフェースに必要なモデム，その他の機器，および設備を入手，設置，そして試操作を行ってください。
- DECnet SNA Gateway と標準版 RJE が通信するのに必要な IBM ホスト・ソフトウェアを生成しておいてください。
- インストレーションで使用するすべてのハードウェア，通信設備およびターミナルを，お客様と日本 DEC が合意した期間に利用できるように準備しておいてください。

このプロダクトを効率的に使用するためには，以下の作業が必要となります。

- インストレーション前の処理を調整するために，当社および IBM のシステムの専門家が共同で作業できるように準備しておいてください。
- DECnet SNA Gateway とリモート・ジョブ・エントリソフトウェアをサポートするために IBM 構成要素作成パラメータを変更する必要があります。

5 必要なサポート

IBM ホスト・ベースのアプリケーション環境にアクセスしたいすべての OpenVMS ノードを含む，ネットワーク構成と DECnet カスタマ・サポート・プラン (適切な場合) を，お客様と日本 DEC が協力して準備する必要があります。

日本語 RJE を日本 DEC が適切にサポートするために，お客様は日本 DEC がサポートする DECnet SNA Gateway を準備しておかなければなりません。

日本 DEC が DECnet SNA Gateway をサポートするには，DECnet SNA Gateway を最初に購入される際に，ゲートウェイ・オリエンテーション/インストレーション・サービス (QSF0x-SZ) も同時に購入する必要があります。

6 必要なソフトウェア*

OpenVMS VAX システム:

1. DECnet SNA Gateway 環境
   - 日本語 OpenVMS VAX オペレーティング・システム V6.0
   - DECnet–VAX V6.0
   - DECnet SNA Remote Job Entry V1.4

以下に示すソフトウェアのいずれか 1 つが必要です。

- DECnet SNA Gateway CT V2.1 (SPD 29.76.xx)
- DECnet SNA Gateway ST V1.2 (SPD 25.C6.xx)

OpenVMS AXP システム:

1. DECnet SNA Gateway 環境
   - 日本語 OpenVMS AXP オペレーティング・システム V1.5
   - DECnet–VAX V1.5

- DECnet SNA Remote Job Entry V1.4

以下に示すソフトウェアのいずれか 1 つが必要です。

- DECnet SNA Gateway CT V2.1 (SPD 29.76.xx)
- DECnet SNA Gateway ST V1.2 (SPD 25.C6.xx)

必要なハードウェアおよびソフトウェアについてはそれぞれの『ソフトウェア仕様書 (SPD) 』を参照してください。

7 注文情報

最寄りの日本 DEC の各支店/営業所にお問い合わせください。

8 ソフトウェア・ライセンス

本ソフトウェアは日本 DEC 標準販売約款中のライセンス規定に基づいて提供されます。

日本 DEC のライセンス条件とその方針についての詳細は，最寄りの日本 DEC 各支店/営業所にお問い合わせください。

9 ライセンス管理機能のサポート

本ソフトウェアは OpenVMS ライセンス管理機能 (LMF) をサポートしています。本プロダクトのライセンス単位は CPU の性能に応じて割り当てられます。

ライセンス管理機能の詳細は『OpenVMS Operating System Software Product Description (SPD 25.01.xx)』または OpenVMS Operating System のドキュメント・セット中の『License Management Facility Manual』を参照してください。

10 ソフトウェア製品サービス

日本 DEC では，様々なサービス・オプションを提供しています。詳細については，最寄りの日本 DEC 各支店/営業所にお問い合わせください。

11 提供媒体

VAX Systems:

テープ: TK50 ストリーム・テープまたは
9 トラック 1600BPI 磁気テープ

CD-ROM

本製品は，「日本語 OpenVMS Consolidated Software Distribution」の一部として，CD-ROM でも利用可能となっています。またソフトウェア・ドキュメントは「日本語 OpenVMS Online Documentation Library」の一部として CD-ROM で利用可能となっています。

12 保証

本ソフトウェアについては，日本 DEC 所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されます。

保証に関する制限事項

IBM がサポートする構成

本ソフトウェアは，以下に示す IBM ソフトウェアで構成された IBM システム/370（30xx および 43xx シリーズを含む）クラスのプロセッサ・システムに対してテストされており，これらのシステムに対して保証されます。

また，このソフトウェアは，他の IBM ソフトウェアおよび機器と組み合わせて使用したり，IBM がサポートするソフトウェア以外のソフトウェアと組み合わせて使用しても正しく機能します。ただし，適切なテストを行っていない機器およびソフトウェア構成でご使用の際は，日本 DEC は本ソフトウェアに対して標準保証を提供していません。

日本語 RJE は次の表にあるの IBM ソフトウェア構成に対してテストされており，これらの構成に対して保証されます。

ソフトウェア・プロダクト	バージョン番号	リリース番号
MVS/SP JES2	2	2.3
MVS/SP JES3	2	2.3
MVS/ESA SP JES2	3	1.3
	4	2.0
		3.0
MVS/ESA SP JES3	3	1.3
	4	2.0
		3.0
ACF/VTAM	3	2.0
		2.1
		3.0
		4.1
		4.2
	4	1.0
RSCS	2	3.0
	3	1.0
VSE/SP	3	2.0
VSE/POWER	2	3.0